

Start & Challenge 29日～障がい者支援事業所の作品展

市内や近隣の障がい者支援事業所の利用者の作品を展示するパラアート展「ミチはここから展Vol.5」(狛江市共催、狛江市社会福祉協議会後援)が、10月29日(金)～11月1日(日)の午前10時～午後6時(最終日4時)に泉の森会館で開催される。

アートを通じ、障がいの有無に関わらず市民同士が交流できる場を設けようと「わたしたちはここにいるよプロジェクト」(今西千晶代表)が令和6年に初めて開催。ギャラリーでの展示会のほか、駅前やイベントで野外展示会を開くなどの活動を行っている。

市民公益活動事業補助金チャレンジ補助金を受けて開催する今回は、通所施設など9団体と個人8人による様々なジャンルの個性豊かな絵画や立体作品約60点を展示する。また日本画の画材を使って和紙に絵を描く「顔彩ワークショップ」(31日(土)午後1～2時)も催す。

各事業所への支援の一環として、食品や雑貨などの事業所製品を販売、毎回好評を呼んでいる。入場やワークショップの参加は無料。

問い合わせ Mkokoniiruyo.project@gmail.com
わたしたちはここにいるよプロジェクト。



ほこみちでのアート展示

18日に渡邊邦男監督の業績しのぶ講演会

狛江ゆかりの映画監督の業績を市民に広く伝えていこうと、記念講演会「渡邊邦男監督とニッポンの喜劇人」(狛江映画人の会主催、狛江市共催)が、10月18日(日)午前10時からエコルマホールで開催される。

同会(渡辺梓代表)は、狛江駅近くに住み、昭和初期から40年代にかけて200本以上の娯楽映画を手がけ、「早撮りの巨匠」と呼ばれた渡邊邦男監督が残した資料の調査・保存を通じて、狛江の映画文化を市民に広めていこうと今年1月に発足、3月に発足記念講演会を催した。

今回は市民公益活動事業補助金スタート補助金を受けて開催。同会会員で娯楽映画研究家の佐藤利明さんが、エノケン、ロッパ、エンタツ、アチャコたち昭和の日本のスクリーンをわかせた喜劇人の系譜をたどりながら、渡邊作品の魅力を語る。また、ポスターやシナリオ、スクラップブックなど、渡邊監督が整理・保存していた貴重な資料を初公開。監督の業績を通じ、日活や東宝の撮影所や多摩川五本松などのロケ地に恵まれ、多くの映画人が住んでいた狛江の映画の歴史を紹介する。会費1,000円。

また来年3月にも講演会を開催する予定だ。
問い合わせ Mazuo22@gmail.com 同会。



昔の映画ポスター

ウェイトリフティング
祖父と孫が全国大会優勝

狛江市岩戸南の狛江第二中学校2年安田理さん(13)が8月9日(金)～11日(日)に富山県滑川市で開かれた第40回全国男子中学生ウェイトリフティング選手権大会(日本ウェイトリフティング協会主催)の+94kg級でスナッチ100kg、クリーン&ジャーク115kg、トータル215kgで初優勝した。

理さんは、同居している祖父の安田順亮さん(82)の影響で小学3年生からウェイトリフティングに取り組み、4年生で都大会で優勝、昨年は中学1年で全国大会で準優勝した。

所属クラブがなくなり、コーチが変わったほか、埼玉県浦和市など市外3カ所へ練習に出向



安田理さん(左)と順亮さん

くなどの困難を克服して栄冠をつかんだ。理さんは初の金メダルを手に入れた。「出場した選手は自分より体格がよい人が多かったが、練習の成果を発揮して勝ち切れて良かった。今後は最重量クラスでパリオリンピックなどに出場した村上英士朗さんの中学時代の記録を塗り替えて優勝したい」と意欲をみせていた。

理さんは、同協会の2032年、2036年のオリンピックを目指す

次世代アスリート育成に向けた強化合宿の全国16人の枠に選ばれて参加するなど、今後の活躍が期待されている。

一方、順亮さんも若い頃から取り組んできたウェイトリフティングの練習を3月に再開、8月27日(金)～30日(日)に徳島県鳴門市で開かれた第43回全日本マスターズウェイトリフティング競技選手権大会の71kg級のM80(80～84歳)に出場、スナッチ35kg、クリーン&ジャーク45kg、トータル80kgで優勝、来年夏に日本で開催される予定のマスターズ世界大会の出場権を獲得した。順亮さんは「闘争心を取り戻すのが難しかったが、家族の声かけでがんばれた。初出場の世界大会では金メダルを目指したい」と意欲を燃やしている。

Shop & Service Guide いらっしゃいませ ...60

(株)鍛冶屋

株式会社鍛冶屋は自社のマンションで不動産賃貸・管理業を営む傍ら、予約制のネイルサロンを営んでいる。

狛江の旧家に生まれた代表取締役の絹山博史さん(43)は、学生時代に父を亡くしたことをきっかけに、所有する不動産を適切に管理・活用する企業の必要性を痛感。卒業後は都内の不動産会社やリフォーム会社でノウハウを学び、宅地建物取引士の資格を取得、平

子育てや防災配慮した賃貸住宅
予約制ネイルサロンも営業

絹山博史さん(左)と真里さん

☎6751-4450 東和泉3-1-5 営業=ネイルサロン>月～金曜午前9時30分～午後5時 不動産>月・火・木・金・土曜午前9時30分～午後5時30分

熱中症に気をつけて
対策標語コンテスト

「狛江市熱中症対策標語コンテスト」(大塚製薬株式会社主催、狛江市・狛江市教育委員会共催)の表彰式が8月31日(日)にこまえみらいテラスで催された。

同コンテストは熱中症について考えるきっかけにしておこうと実施された。市内の小・中学生を対象に、熱中症について感じたことや思ったこと、知っている情報、自身の経験などを表現した標語を6月3日(金)から29日(木)まで募集、131点が寄せられた。

7月13日(日)に行われた選考会で、小学校低学年、小学校高学年、中学生の3部門からそれぞれ7点、計21点が選ばれた。

市長賞に選ばれた標語は次の3点。「かれちゃうよ ひともあさがおも



熱中症対策標語コンテストの入賞者

みずのもう」(小学校低学年の部・狛江第三小学校1年宮崎湊さん)、「電気代 それより命 大切だ」(小学校高学年の部・和泉小学校6年菅澤杏那さん)、「曇り空 涼しさ裏に 危険あり」(中学生の部・狛江第一中学校1年半田優之進さん)。

狛江市との連携を確認
FC東京の白井社長が訪問

サッカー明治安田J1リーグのFC東京を運営する東京フットボールクラブ株式会社社長の白井英介さん(38)が8月26日(日)に狛江市役

所を訪れ、松原俊雄市長に就任の挨拶をするとともに、一層の連携を確認していた。

絹山さんは「地域のニーズに合わせた提案が資産価値を高める」と考え、今春完成した賃貸マンションの建設に際しては東京こども

すくすく住宅認定制度に申請。子どもの手が届かない高さに設けた窓のロックや、低い位置の照明スイッチ、角に丸みを持たせた柱、ベビーカー置場の確保など、子育て世帯に配慮した設計を取り入れ、東京こどもすくすく住宅認定制度の認定を受けた。また、共有部分の電力を賄う屋上ソーラーパネルや、災害時にかまどになるベンチを設置するなど、防災面にも配慮した設計を取り入れた。

一方、妻の真里さんは自社マンション1階に完全予約制のネイルサロン「Cosina」(二次元コード→)を開業。真里さんは16年前から3人の子育ての合間を縫ってインターネットや展示会で新商品・新技術の勉強を重ね、ネイルアーティストとしての腕を磨いてきた。今では、爪を美しく彩る施術はもちろん、足の巻き爪ケアや歩行改善のアドバイスにも精通している。「きれいなネイルで気持ちが明るくなり、日常を楽しく過ごせるお手伝いができるのが楽しい」と魅力を語っている。

博史さんは「地元の街づくりに関わりたい」と言っていた父の遺志を受け継ぎ、狛江青年会議所や狛江市商工会青年部などで地域イベントの裏方としても活躍し、若い世代が住みやすく、にぎわいのある街づくりに貢献したいと意欲をみせている。

所を訪れ、松原俊雄市長に就任の挨拶をするとともに、一層の連携を確認していた。

7月に社長に就任した白井さんは「新シーズンからいよいよ秋春制に移行しました。優勝を目指して頑張りますので引き続き応援をお願いします」と挨拶。これに対し松原市長は「FC東京には市民まつりなどで協力していただいております。狛江出身のゴールキーパー田中颯選手もいるので一層応援していきたい」と答えていた。



田中颯選手のユニフォームを手にする松原市長(左)と白井社長